

応急手当講習効果確認表

区分	項目	優	可	要指導	
心肺蘇生	安全の確認を行ったか			1	
	傷病者の反応を確認したか			2	
	周囲の人に助けを求めたか「誰か来てください」			3	
	119番通報とAEDを依頼したか (又は誰もいない場合、自分で119番通報したか)			4	
	呼吸観察	胸や腹部を見て、普段どおりの呼吸かどうかの判断をしたか			5
		判断を10秒以内で行ったか			6
	胸骨圧迫	胸骨の下半分(胸の真ん中)を圧迫したか	Ⅲ 胸骨の下半分(両乳頭を結ぶ線の少し足側)を2本指で圧迫したか		7
		毎分100～120回のテンポで圧迫したか(30回を15～18秒の間で)			8
		約5cm(小児の場合は胸の厚さの約3分の1)沈み込むように深く圧迫したか	Ⅲ 胸の厚さの約3分の1まで深く圧迫したか		9
		圧迫と圧迫の間は胸が元の高さに戻るまで解除したか			10
	人工呼吸	気道を確保したか(頭部後屈顎先拳上法)			11
		1回に約1秒かけて、2回行ったか			12
		心肺蘇生を30:2のサイクルで行ったか			13
AED到着から解析まで	AED到着後、傷病者の近くに置き、電源を入れたか			14	
	小学生以上には成人用の電極パッド(成人用モード)を、未就学児には小児用の電極パッド(小児用モード)を選択したか	Ⅲ 小児用の電極パッド(小児用モード)を選択したか		15	
	電極パッドを貼る前に胸部を確認したか(胸部の濡れ、貼付薬剤、ペースメーカー)			16	
	電極パッドを適切な位置に貼ったか			17	
	解析時は、誰も傷病者に触れないよう「みなさん、離れて!」と声を出して確認したか			18	
「ショックが必要です」のメッセージ	「ショックを行います。みなさん、離れて!」と声を掛け、誰も傷病者に触れていないことを確認してショックボタンを押したか			19	
	電気ショックが終わったら、すぐに胸骨圧迫を再開したか			20	
「ショックが不要です」のメッセージ	すぐに胸骨圧迫を再開したか			21	
胸骨圧迫の交代	救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続けたか			22	
	二人以上いる場合、1～2分を目安に胸骨圧迫の役割を交代したか			23	
胸骨圧迫比率	胸骨圧迫比率が60%以上になるように心肺蘇生を行ったか			24	

: 特に重要な行動として、実施できるように指導する。

Ⅲ : 普通救命講習Ⅲの場合のみ